

社会貢献活動

基本的な考え方・方針

オリンパスグループの社会貢献に関する方針

オリンパスは、技術や人員などの経営資源を活用し、事業以外でも社会に貢献していきたいと考えています。社会貢献活動をより進化させるため、2016年9月に従来の「社会貢献方針」を見直し、「慈善寄付・助成方針」と「企業市民活動方針」(P48参照)という2つのグローバル方針を制定しました。さらに「慈善寄付・助成方針」にプロセスを明記したガイドラインを追加し、慈善寄付および助成プロセスの透明性の強化を行っています。

一方、「企業市民活動方針」では、注力すべき領域として「医療・健康」「文化・芸術」「地球環境」「科学・技術」の4つを定め、この領域のなかでさまざまな活動を活発に行っています。

慈善寄付・助成方針

オリンパスグループ(以下、「オリンパス」という)は、経営理念に掲げている「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」をすべての活動の基本思想としています。当社はこの基本思想のもと、事業を通じて社会に新たな価値を創造することに加え、社会からより高い信頼を得ることを目指します。慈善寄付・助成を通じ、社会の一員として社会的課題の解決に向けた使命と責任を果たします。

1.重点とする領域と活動

「医療・健康」、「文化・芸術」、「地球環境」、「科学・技術」の領域を中心に慈善寄付・助成を行います。また、実施に際しては、社会的に公正で、かつ倫理規範を満たすよう配慮します。

(1)慈善寄付

人道的支援のための慈善的取り組みおよび企業の社会的責任に基づく地域社会への貢献活動として、金品による寄付を行います。災害支援の際の寄付も慈善寄付の一部と位置付けます。

(2)助成

公益を目的とする団体による「医療・健康」、「文化・芸術」、「地球環境」、「科学・技術」の各分野における教育および研究活動やプログラムに対して、金品による寄付を行います。

2.法規制・社会規範の遵守

オリンパスは、慈善寄付・助成に関する国内外の法令および業界ガイドラインを確実に遵守します。

3.規程・体制の整備

オリンパスの商業活動と明確に分離し、透明性を確保するためのガイドラインおよび運営体制を定め、慈善寄付・助成を実行します。

4.情報公開

国内外の法令および業界ガイドラインに従い、慈善寄付・助成の実行結果を確実に記録し、適時・適切な情報の開示に努めます。また、情報公開や積極的なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解に努めます。

企業市民活動方針

オリンパスグループ(以下、「オリンパス」という)は、経営理念に掲げている「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」をすべての活動の基本思想としています。当社はこの基本思想のもと、事業を通じて社会に新たな価値を創造することに加え、社会と良好な関係を築き、社会とオリンパスが互いにかつ持続的に発展することを目指し、企業市民活動を通じて社会に貢献します。事業活動を通じて獲得した技術、知見などを社会的課題の解決に活用し、オリンパスらしい企業市民活動を実施していきます。

1.重点とする領域と活動

「医療・健康」、「文化・芸術」、「地球環境」、「科学・技術」の領域を中心に企業市民活動を実施します。重点領域における課題解決に貢献するため、以下の3つに該当する活動を中心に取り組みます。

- (1)グローバル企業の責任として国際社会の課題解決に寄与する活動
- (2)オリンパスが関連する事業を通じた社会的課題の解決、およびそれらに資する活動
- (3)オリンパスの技術やノウハウを通じた次世代の社会を担う人材の育成、教育支援、および啓発活動

また、重点領域や重点とする活動に加え、貧困や飢餓の低減などの人道的な慈善活動や、大規模災害発生時の緊急支援活動にも取り組みます。

2.社会規範の遵守

地域の文化や慣習を尊重するとともに、コンプライアンスを徹底し、社会の発展および健全な関係構築に努めます。

3.規程・体制の整備

すべての役員および従業員の社会貢献に関する意識向上を図ると共に、企業市民活動を促進するための規程・体制を整備し、施策の充実を図ります。

4.情報公開

企業市民活動の実施においては、社会の要請を取り入れるとともに、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを図り、活動の継続および改善に努めます。また、その取組みを広く社外に公開します。

オリンパスの企業市民活動の詳細については、以下のWebページをご覧ください。

<https://www.olympus.co.jp/csr/activities/>